

即刻開悟の鍵 4

スプリームマスター チンハイ

私は仏教にもカトリックにも属しません。私は真理に属し、真理を伝えているのです。それを仏教、カトリック、道教と呼んでも、あるいはあなたの好きなどんな名前でも構いません。何でも結構です。

スプリームマスター チンハイ

内面の平和を得るにより、私たちは他のすべてのものを得るでしょう。この世界や天国の願望を満足させたり、実現させたりするものすべてが神の王国から来るのです。それは私たちの永遠の調和、永遠の智慧、そして万能のパワーを内面で認識することです。これらを手に入れなければ、たとえどれだけのお金や権力があっても、どんなに高い地位にいたとしても、私たちは決して満足することはできません。

スプリームマスター チンハイ

私たちの教えというのは、あなたがこの世界でしなければならぬことは何でも行うこと、心を込めて行うということです。責任を持ち、そしてまた毎日メデイテーションをするのです。そうすれば、あなたは自分自身とこの世界に役立てるために、さらに知識や智慧や平和を手に入れることでしょう。あなたの内面にあなた本来の善良さが備わっていることを忘れてはいけません。あなたの体に神が宿っていることを忘れてはいけません。あなたの心の中に仏陀がいることを忘れてはいけません。

スプリームマスター チンハイ

スプリームマスター チンハイのプロフィール

マスターチンハイはオウラック（ベトナム）で生まれました。彼女の父親はとても評判の高い自然療法医でしたが、世界の文学を愛し、特に哲学について興味を持っていて、老子や荘子の書物を愛読していたので、彼女は幼い頃からこのような書物を手にすることができました。小学校に入る前からこのような本や、その他東洋、西洋の哲学書を読んでいました。

彼女は普通の子どもとは違い、他の子どもたちが宿題をしたり、遊んだりしている時に、哲学や文学の本を読んでいました。父親が心配して、このような本がわかるのかと尋ねました。彼女は「おとうさん、わからないなら、このように興味は持たないでしょう」と答えました。父親はそれでもなお心配しましたが、学校でいつも優秀な成績を収めていたので、その並外れた興味に対して応援するようになりました。

マスターチンハイの両親はカトリック教徒でしたが、仏教に対しても寛容でした。彼女の祖母は仏教徒で、仏典や礼拝について教えてくれました。彼女はそのような時間を過ごすのが好きでした。このような背景の下で、マスターチンハイは宗教に対してとても寛大な態度が養わ

れました。朝はカトリック教会に、午後は仏教寺院に行き、夜は神聖な教えの講話を聞きました。そのことが彼女に、「私たちはどこから来たのか」「死後の世界はどのようなものか」「なぜ、人はこんなに違うのか」といった精神世界についてのたくさんの疑問をもたらしました。

戦時中、彼女の住んでいた町では医師と看護婦が不足していたので、授業が終わってから病院で手伝いをしました。患者の体を洗ったり、病人の便器の始末をしたり、患者の苦しみを和らげるためにさまざまなことをしました。いろいろな国の友人が彼女のことをよく「在世仏」あるいは「おもしろい聖人」と呼んでいたのは、彼女にユーモアのセンスがあり、すべての人に対して親切だったからです。彼女は生涯ベジタリアンで、殺害の光景を見ることを常に拒み続け、傷ついた動物を家に連れて帰り、手当てをして、治ったらまた元に戻していました。動物が殺されるのを見ると泣き、この世界の苦しみをなくしたいと願っていました。

マスターチンハイが幼い頃、ある占星術師が、彼女は凡人ではなく、人並み優れた品と徳を兼ね備えた大変聡明な人物だと言いました。また、出家して悟りを開くか、もし結婚すれば幸せな親戚関係を持ち、素晴らしい夫を得るはずだと言いました。後の人生で、同じような予言が機会あるごとに繰り返されました。（違う国でさえもそう言われたのです）マスターチンハイが出家して、ヒマラヤに行く時、彼女の母親はあるお寺に行き、助言をもらうために祈りました。母親は誠実な参拝者のどんな質問にも答えてくれるという、観音菩薩のお寺を選びまし

た。母親は「あなたの娘は十億人に一人というとてもまれな高貴な子どもで、生きとし生けるものを苦難から救うという使命のため、観音菩薩と共にこの世界に來たのです」と告げられました。

彼女はある時期、ドイツで赤十字社の通訳として働いていました。自分の健康と快適さを顧みず、自発的にオウラック難民のために長時間奉仕していました。赤十字の仕事を通して、多くの国の難民の苦しみを知り、戦争や天災における苦しみと困難を見続けてきました。マスターチンハイは苦しみを和らげるよう奮闘しましたが、人間の苦しみに対してはどんな意味ある影響を与えることも、無用の行為であるとすぐにわかりました。この認識が彼女に「悟りを開く」という決意を強くさせました。これこそ人類の苦痛を和らげる最良の方法であると確信したので。それでヨーロッパで生活している間に、さらに真剣にメデイテーションに励み、新しい先生を探したり、手に入るすべての靈修行の本を読んだり、多くの方法で修行しました。しかしながら、どの方法も効果がなく、經典で読んだ靈的な現象を体験することができず、悟りの状態にも達していないと感じていました。この状況は彼女にとってますます耐えがたいことでした。

ドイツにいた時、マスターチンハイはドイツ人の科学者と幸せな結婚をしました。彼は二つの博士号を持ち、優しく思いやりのある、協力的な夫でした。彼はベジタリアンになり妻と共

に聖地巡礼の旅をし、その上、彼女の慈善の仕事を支えてくれました。それでも、マスターチンハイは靈性のゴールを追究するために、いずれは結婚生活を捨てなければならぬと感じていました。マスターチンハイは長い時間をかけて、ついに許しを得て彼と別れました。この別れは二人にとって極めて困難な決断でしたが、彼女は悟りの追究のためには正しい判断であると強く感じていました。

別離後、マスターチンハイは一世で解脱できる完璧な法門を探しました。けれども、彼女の先生たちは誰もこの法門のことを知りませんでした。何千マイルも旅し、長い月日を経て、ついにヒマラヤに住むマスターを見つけ、観音法門の印心を受け、長年探していた神聖な伝法を授かることができました。観音法門を短期間修行した後、完全に悟りを開き、さらに修行を続け、理解を深めました。彼女はこの期間ヒマラヤに隠遁して、毎日修行を続けたのです。

マスターチンハイは偶然フォルモサ（台湾）に行きました。台風で大雨の夜、小さなお寺の裏にある小部屋でメデイーション（座禪）をしていたところ、戸をたたく音で遮られました。見知らぬ人たちが「観音菩薩が私たちの祈りに応えて、あなたのことを告げました。あなたは偉大なマスターであり、解脱に達するためには、あなたに祈らなければならぬと教えてくれました」と言いました。マスターチンハイは彼らを追い返そうとしましたが、彼らは帰りませんでした。結局、彼らの誠実さと忠誠心に感動し、彼らが数ヶ月の間浄化することに耐え、ベ

ジタリアンを守ることを承知したので、彼らに印心することを承諾しました。

マスターチンハイは本来恥ずかしがり屋で、弟子を探して教えることはしませんでした。実際、彼女を探し求めている人から逃げていました。インド、ドイツ、フォルモサ、そしてアメリカでも、小さなお寺で謙虚な生活を送っている時に、このようなことが起きました。今回、フォルモサで三度目の「発見」をされた時、この先、避けられない仕事から逃げてはいけないと認識したのです。彼女は真理のメッセージを聞きたいという人々に分かち始め、誠実な生徒たちに観音法門の印心を授け始めました。

マスターチンハイの宗教全般に対する並々ならぬ広い視野は、「在世のマスターが肉体の次元にとどまっているうちは、すべての宗教はみな同じである」という彼女の知識から生じています。彼女はキリスト、仏陀、老子の他、たくさんの方の教えを学びました。そして今、それを教えているのです。こういった偉大な教えの類似点を説明し、彼女の目を通して、どんな偉大なマスターたちも同じ真理を語っているということを見せてくれます。彼女はしばしば、異なる宗教観念は、それぞれの時代、世界の別の地域で、経典がさまざまに解釈された結果であると指摘しています。今日、さまざまな階層の人、さまざまな宗教の背景を持つ何百万もの人々が、彼女の教えに意義を見いだしています。そして、観音法門の修行者とメデイーションセンターは世界中のほとんどすべての国に存在しています。マスターチンハイは真理の追求者の

背景と文化によって、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、オウラック語で講義をしています。近年、彼女はアジア、アメリカ、カナダ、中米、南米、オーストラリア、ヨーロッパ、ロシアを横断して講義をしました。マスターチンハイと一緒に観音法門を学び、修行を望む人には喜んで印心を授けています。

霊修の布教活動とは別に、スプリームマスターチンハイは世界中で人道的活動を通して、人々を肉体的苦痛から救うことも重点的に行っています。それをここに紹介します。アメリカ中西部、オレゴン、カリフォルニア、マレーシア、フィリピン、タイ、カンボジア、オウラック、ネパール、パキスタン、バングラデッシュ、チリ、ベネズエラ、オランダ、ベルギー、フランスの洪水による被災者、中国の中央西部大洪水の被災者、フィリピンのピナツポ火山の大噴火で家屋を失った人々、南カリフォルニアとフロリダの火災の被災者、カナダのひょうの被災者、アフガニスタンの吹雪の被災者、ホンジュラスとニカラグアのハリケーン・ミッチ、メキシコのハリケーン・パウリナ、バングラデッシュ、アラバマ、オーストラリアの竜巻、フィリピンとバハマの台風、これらによって家を壊された人々、チリ、アフガニスタン、イラン、中国、ロサンゼルス、日本、ロシアのサハリン、そしてギリシャでの地震の被災者、この他にも戦争、テロ活動、事故による災害、南スーダン、カンボジア、北朝鮮の飢饉、オクラホマ市の爆撃、韓国の大浦ト崩壊、チェチェン、ボスニア、ルワンダ、スーダンなどの戦争による

国土破壊、というようなことで苦しんでいる人々に対しても、人道的な救援活動が行われています。財政的、またその他の援助は次のようなところに分配されました。アルバニアのコソボ難民、アジア全土の抑留キャンプのオウラック難民、ブラジル、インド、アルメニア、象牙海岸、オウラックの孤児院と病院、スターライト児童基金とセントジュード小児研究病院、ハワイ・モロカイ島、フィリピン・クリオンのハンセン病患者の居住区、アメリカ、イギリスにおけるエイズとガンの医療研究所の設立、インド、ドイツ、ウガンダの霊修団体、アメリカ退役軍人などです。二〇〇一年、アメリカで発生した九・一一事件の時には、スプリームマスターチンハイは近隣の州の弟子たちに、救援隊を作り、現場での救助活動を行うようにすぐに指示しました。その時、被災現場の地域に入ることができたのは、赤十字と救世軍の他に民間団体では唯一、マスターチンハイの救援隊だけでした。このような具体的な救済の寄贈の他に、マスターチンハイの愛と慈悲にあふれる生き方は、弟子たちに彼女を手本として見習うよう奮起させるのです。観音法門の修行者たちは、全世界のホームレス、貧困、老人、そして援助を必要としている人々に、救いの手を差し伸べています。

彼女はいかなる承認も求めませんが、世界中の政府はマスターチンハイの人道的活動を認め、栄誉を贈っています。例えば、ハワイホノルル市長は一九九三年十月二十五日を「スプリームマスターチンハイデー」として宣言しており、イリノイ州、アイオワ州、ウイスコンシン州、

カンサス州、ミズリー州、ミネソタ州の州知事は、一九九四年二月二十二日を同様に「チンハイデー」として宣言しました。マスターはホノルルで「世界平和賞」を受賞し、シカゴの式典で「世界精神指導者賞」も受賞しました。シカゴの式典では当時のクリントン大統領、ブッシュ前大統領、レーガン元大統領をはじめ、世界中の多くの政府官僚から祝電が送られました。また、「アメリカ名誉市民賞」の称号も許されました。

近年、マスターチンハイは自ら楽しみとする、美の表現や創作にも専念しています。彼女の靈感あふれる作品は絵画、装飾扇子、灯籠、室内装飾、ガーデンデザイン、服飾デザイン、ジュエリーのデザイン、音楽、歌、詩の創作です。こういった芸術作品は人道的活動を目的とした基金のために、たびたび作られています。

一九九六年以来、三年間続けて年末に、チャリティ音楽会がロサンゼルスとワシントンDCで開催されました。一九九八年には「音楽を通して、平和な一つの世界を」という音楽会が数々のアカデミー賞の受賞会場であるシユラインオーデトリウムで開かれました。魅惑的で思考を鼓舞させるスプリームマスターチンハイの詩が、有名なハリウッドのアーティストや、国際的な音楽家による素晴らしい演奏と溶け合い、愛と平和のメッセージが多くの人々の心に深く伝わりました。スプリームマスターチンハイは自らの芸術性を通して、神と融合する美と喜びを描き、「芸術を通して真理を分かち合う」ということにおいて、パイオニアとなったのです。

マスターチンハイは、自分は昔から悟りを開いていたわけではないと、私たちに言いました。世俗的な生活を送ったことにより、その経験から、私たちの悩み、心の痛み、熱愛、欲望、疑いがわかるのです。そしてまた、神の王国の境界（きょうがい）も知っています。ここから、どのようにしてそこにたどり着けるかも知っています。彼女の人生のこの時期、唯一の任務は、私たちの無明による苦難や混乱から脱する旅の手助けをすることです。完全な神の認識を完全に明らかにし、無上の喜びを得る手助けをすることです。あなたの準備ができた時、彼女はあなたを家に連れて帰ります。

メッセージ

靈性の師であり、芸術作家でもあるスプリームマスター チンハイは、内面の美を表現することとを、こよなく愛しています。そういうわけで、彼女はベトナムを「オウラック」、台湾を「フオルモサ」と呼んでいるのです。オウラックはベトナムの古称で「幸福」を意味し、また、フオルモサの名はその島と人々の美をより完全に表しています。マスターはこれらの名称を使うことで、その土地と住人の靈性を上昇させ、福報をもたらすと感じているのです。

ビーガンのライフスタイル

スプリームマスター チンハイは講義の中で菜食について言及しています。二〇一〇年からは「ビーガン食生活」を人類の理想的なライフスタイルとして力強く、熱心に、強く推進していきます。これも博愛の精神によるもので、ビーガン生活は動物たちが受けている大きな苦しみをなくし、人々が病気による苦しみから免れるためでもあります。また二〇一〇年四月十四日からビーガン食生活を印心の条件の一つに定めています。（ビーガンとは全く動物性成分も含まれていない食べ物のことを指します。つまり乳製品、魚、鶏と卵（受精卵、未受精卵を含む）などです）

目次

スプリームマスター チンハイのプロフィール

- 1 この世を涅槃に変える 一七
- 2 神からもらった豊かな生活を大切にしよう 四九
- 3 真理の会話 六五
- 4 超世界の奥義 一五七
- 5 私たちは本来すでに解脱している 二二一

6 万物は一体である

一三五

7 常に涅槃にいる方法

一五三

8 老子、莊子と天国の音楽

一六一

9 自分自身を許しなさい

一八五

印心—観音法門

三三三

出版物の紹介

三七

私たちへの連絡方法

三三三



この世を涅槃に変える

一九九二年二月二十三日 マレーシア・ペナンにおける英語講演

ひどい話です。生産過剰の果物でも腐らせて肥料にすれば再利用できます。なぜ海中に投棄するのでしょうか。例えば、それを天然肥料にして有機栽培をすればいいのです。どうして投棄してしまうのでしょうか。とにかく全く計画的ではありません。どの国も利己主義です。すべての国とは言いませんが、ほとんどがそうです。各国とも警戒してそれぞれのいわゆる機密を守っています。そんなことは全世界がとつくに知っていて、すべての仏陀もとつくに知っています。彼らだけが機密と思っているのです。自分たちの機密は守っていても互いにそれほど助け合っていません。ある国が援助をすると、他の国々はその国につけこんでからかい、圧力をかけるので、もう助けられなくなりません。それで、それ以上の援助ができなくなったり、多くの問題を引き起こしたりするのです。

私たちの世界はすべての面でとても豊かです。地球全体を養うことができます。さらに、耕す土地がなかったり、鉱物が破壊されてしまったり、「スターウォーズ」か何かで（マスター笑

う) 大気が汚染されてしまった三十三以上の惑星に供給できません。彼らに輸出できるはずです。新鮮な果物や野菜を送り、その代わりに彼らのUFOを輸入するのです。ええ、交換できます。彼らの優れた設備や機械を輸入し、こちらからは豆腐(笑い)、小豆、米、麦など、それどころかネコや犬や観賞用の鳥なども輸出できます。こういった惑星の中にはそれほど多くの物質がない所もあるのです。大気が破壊されてしまったので、そこでは人が生存するのは難しいので、人口を抑制しているのです。というのも、大気や酸素といったすべての物質をリサイクルさせなければならぬからです。ペットを飼う余裕などありません。ですから私たちは空気でさえ輸出できます。地球から愛を込めて、彼ら一人ひとりに酸素を一袋ずつ贈ることができます。ええ、そうすることができます。

世界の指導者たちが、利己主義であることがいかに有害か、つまり、そうした態度が彼ら自身をどれほど短命にし、それが結局彼ら自身や後の世代、また彼らの子どもたちにとつてどれほど有害であるかということだけでも認識したなら、そして、全宇宙の中には他にも惑星や文明が存在し、その人々と相互関係を保ち、コミュニケーションを試み、学び合おうとし、互いの助けとなるべきだと認識したなら、彼らは互いに論争したり、戦ったりすることをやめるでしょう。少なくとも、戦争をする代わりに、努力して平和を築く方法を見つけ出すことにすべ

けれども、今、私は誰にどう話すことができるでしょうか。大統領一人ひとりにあたってみるべきでしょうか。私たちの愛に満ちたエネルギー光線「やさしい愛の思いやり」（笑い）で、彼らを撃ち落とすのです。「やさしい愛の思いやり」で撃ちましよう。彼ら一人ひとりに愛を三袋ずつ贈るのです。けれども、もし、彼らがそれを早合点してしまつたら……。もし、私が世界の指導者に接近したら、彼らから何かをもらいたいからだと思われるかもしれませんが。誰もがお互いに相手から何かをもらいたいと思つているので、彼らもこういうふうを考えるかもしれません。ある人が何かをして、それに対して何の見返りも求めないのは非常にまれです。そうですね、私も見返りに何か欲しいですね。彼らに人々の面倒を見てもらいたいし、自分の国やこの地球全体の利益のために、本当に彼らの命をささげてもらいたいのです。そして、間違つてしてしまつたことを改善し、この地球を美しくしてもらいたいのです。そして、できることなら、私たちの技術や機械、理解力やライフスタイルを向上させ、この世界と他の世界の苦しみを減らすために、この世界を越えて他の世界と交流してもらいたいのです。

世界や国家の眞の指導者なら、広い視野を持ち、大きなスケールで物事を行わなければなりません。小集団、政治家、一部の国家、関心を持つてくれる人々の団体や自分たちの援助者、仲間、支持者、自分の国の面倒を見るだけではなく、大きな視野で考えなければなりません。私たちが考え方を大きく、心を広くする代わりに、そんな小さな範囲で考えるなら、自分自身

の品格を下げてしまいます。これはとても難しいことですが、私たちはやり遂げられるかもしれません。ある程度まで世界がひどくなれば、人々は目覚めて協力するようになり、私たちは団結するでしょう。というわけで、私たちが目覚めていなければ、神は私たちを眠りから揺り起こすために、結果として、または治療薬として、時には災害という手段を使わなければならないのです。けれども、この方法はあまりにも悲惨で、後遺症が長期間続きます。天災が来る前に、私たちは自分自身で目覚める方がいいのです。

私たちはしばらくは揺り動かされませんが、その後、再び元の悪い習慣に戻ってしまいます。向上するために、過去や以前の教訓から学ぶことができないのです。私は、世界の指導者たちが自分のライフスタイルを変えなければならぬと実感するのに十分なほど、墮落してしまうことを望みます。彼らは日常生活以上に大きな事を考えなければなりません。国境を超え、この惑星の大気圏を超えて考えなければならぬのです。さもないと、動物やアリのように、ただ自分たちの胃袋を満たすために考え、働き、暮らすようでは、つまり、自分たちの周囲のことや親戚、友達、国の面倒を見るだけでは、自分自身の偉大さを無駄にすることになります。アリアやハチはそうしていますね。それでも、ある人たちよりは組織的です。互いに協力し、愛があり、手に入れたものはそれぞれ平等に分け合います。共に働き、物を共有し、互いに分け合うのです。私たちには物が十分にあります。多すぎます。この世界は依然として豊かで、

鉱物やあらゆる資源など、すべての面で豊かです。たとえ石油がなくても、車を走らせるための別の何かを見つけてでしょう。UFOは石油使いません。必要ありません。火星からここまで必要な石油を運べますか。七千八百万キロも離れています。そうですね。一番近い惑星は火星でしたね。いずれにしても、私たち自身の燃料で行って帰って来られるくらい近いのです。実際にはそれほど近くはなく、ここから香港へ行くようなわけにはいきませんが。これは誰でも知っています。

目的によって使う燃料が違います。高度な世界では石油は必要ありません。やっかいですし、重すぎます。彼らは他の種類の燃料を使いますが、太陽エネルギーとは限りません。大気中には他の種類のエネルギーが存在しています。ある科学者たちは次第にそれを発見するようになってきたと思いますが、まだ使用するに至ってはいません。というのは、時々科学者が何かを発見すると、誰かが彼をつぶしにかかり、その発見を公に知られないようにし、彼を支援しないようにするのです。たぶん、経済的支援が断たれてしまうのでしょう。それで、それ以上実験ができなくなったり、彼の後に続く誰かがその特許を盗んで破壊したり、非常に悪い目的に使ったり、売ろうとするのかもしれない。ただし、高額なので買いたい人はいませんが。それで、誰の手も届かない所で滞ってしまい、何の役にも立たなくなるのです。わかりますか。依然としてこういう考え方の人々がいる限り、私たちのこの地球に未来はありませんし、文

明的な世界になるとか、真に威厳があり、尊厳ある人間生活といった価値ある人生の世界になる望みはありません。そうでしょう。とても難しいことです。ですから、私たちの仕事はそれほど悪くないと思います。私たちは人々に、少なくとも正直になり、勤勉で自分自身に頼り、自分の智慧を探し求めるよう教えることができます。そうすれば、彼らはどんな小さな仕事をするにも心から献身的に行います。たとえ仕事ができなくても、とにかく社会に対して誠実です。他人をだましません。トラブルを起こしません。忍耐強く尽くします。あるいは、少なくともトラブルのもとになることはありません。それに、彼らは他の人の成功を嫉妬したり、破壊したりしないでしよう。それが、彼らがたまたま仕事上見つけた、科学的分野やどんな分野の成功であってもそうなのです。

私たちの弟子の多くは、どこで他の弟子に会ってもお互いに兄弟だと感じます。通りや、どこか別の場所とか、たとえ初めての場所ではったり出会ったとしてもそう感じます。そして、その人は信用できるとわかるのです。その人が自分を助け、愛し、少なくとも害を与えないだろうということがわかります。そうですか。(聴衆答える：はい) ですから、世界全体がこうならどうでしょう。私はあえて言います。このような兄弟関係を築いている宗教団体は他にありませんか。名前をあげてごらん下さい。見つからないでしょう。そうですね。私たちのように互いに信頼できる、いわゆる兄弟関係のある団体を見つけないのは難しいです。(聴衆答える：そ

うです。(拍手)

もちろん、私たちにはまだ欠点も個性もありますが、お互いに信用でき、自分たちに愛があり、愛を与えられることも知っています。私たちが持っているものは何でも与えられることを知っています。こういうことでお互いに信用し合うのです。もし、私たちがこのような世界を造れば、天国に行く必要はありません、涅槃について論じる必要はありません。まさにここにいればいいのです。(拍手) ですから、私たちは涅槃からスタートしますが、最後にはこの世界が涅槃になるのです。それでいいのです。実際、私たちの目的は自分の義務やこの世界から逃げることではありません。もし、私たちがここにいられないとか、この世界を変えられないというのなら、あの世に行かなければならないだけのことです。(マスター笑う)

ですから、あなたがこの世界を愛するのなら、あなたが地球に降りて来た人なら、そして地球の人類だと思えば、この世の人々にまだ価値があり、信用する価値があると思うのなら、彼らを救うことです。あなたの智慧を使い、靈修行、慈悲、愛、観音法門において、あなたが知ったことを使って彼らを救うのです。それが私たちの義務です。すべての人々が観音法門を修行し、菜食をしてもなおこの惑星が好きになれないなら……。いいでしょう。別の惑星が用意されています。他の惑星があなたを待っています。たくさんあります。「私の父の家にはたくさん部屋がある」のです。それは確かです。けれども、上に行ける人はいつでも下に降りて来ら

れますが、下のレベルの人は必ずしも上の世界に行けるわけではありません。

みなさんが私たちのこの法門や目的、私の教えについて疑問がある場合、みなさんはまだ新しく入ったばかりの人か、まだ隣の人が話したような素晴らしい、震えるような体験をしていないからか、ずっと別の法門や修行法を行っていたからか、あるいは、故意に間違った食べ物を食べたからなのです。固い信念を持ち、新たに始めるよう、私はみなさんに気づいてもらいたいです。あなたが受け取る栄光の言葉は、決して私の利己心によるものではありません。

私は自分の体や身内の利益について、一秒たりとも考えることはありません。いつもそう言っていますし、誰もがそのことを証明できます。例えば、私が二十七年前に離れたオウラック（ベトナム）にいる家族は、つい二カ月前に初めてテレビを買ったのです。わかりますか。私が家族に数千ドルを送金したからです。どうして彼らがテレビを買ったかという点、私のビデオが見たかったのです。（拍手）このことから、私が利己的でも、家族の利益を考えているでもないことがわかってもらええると思います。

もちろん家族が助けを求めれば助けます。彼らが呼ばなければ知らんぷりをします。彼らは十分暮らしていけると思っっていますし、物質面での快適さに関してはいあまり心配していません。生活している以上は大丈夫です。私は神に彼らの面倒を見てもらっています。けれども、もちろんひもじい思いをさせたり、死ぬようなことはさせません。他の人々を助けられるなら家族

も助けられますが、金持ちにさせるとか、名声を与えるということではありません。私はみなさんと同様に無力です。決して弟子たちに私の両親に会いに行ったり、おじぎをしたり、私の家を見に行ったりさせません。たとえ、それが私の榮譽とか、親の榮譽であったとしても、私は弟子たちに行くことを禁じています。行った者は、私に会いに戻って来ることを禁じているのです。

物質的存在や、二、三の体に榮譽を与えても何の役にも立ちません。最高の榮譽は、みなさんがメデイテーション中に見つけるでしょう。自分自身をさらに良くし、この世界のとても素晴らしい市民にするのです。これが、みなさんが私に榮譽を与える方法です。他に方法はありません。ということ、みなさん自身が選んだのは素晴らしい道であり、良いマスターであり、正しい教えであるということをもう一度信じてください。みなさんは私をマスターと呼ぶことができます。物ごとと呼ぶなら、私はもうたたえられません。けれども、みなさんは私をマスターと呼んでいます。それはみなさんが、この人は自分たちが知りたいことや理解したいことを知っている人だということをはっきりと理解できたからです。これこそ私たちが目指すゴールです。わかりますか。その人は私たちがなりたいたいの手本です。その人は自分自身をマスター（主宰）しているのです。そういうわけで、私たちはその人を「マスター」と呼ぶのです。

いずれ、私たちが自分自身をマスター（主宰）した時には、自分のことを「マスター」と呼

んでも構いません。自分自身をマスター（主宰）した人が本当のマスターです。そして、これこそ私を「マスター」と呼ぶ唯一の目的です。そうでなければ、私にはこの仕事を引き継ぐ前よりも榮譽を与えられることはありません。同じです。私利私欲はありません。私たちの道は正しく、人々に最も利益をもたらし、最も早いものです。私たちの弟子は、私が今までに知っている世界中の他のどんな団体の弟子よりも早く進歩しています。

私はすべて誠実に話すので、みなさんはその方法を見つけ出そうとすることができるのです。別の方法を学ぶために時間を費やしても構いません。私は嫉妬しませんし、恐れもしません。みなさんが私から離れていくことを恐れません。ただ、みなさんが自分の時間を浪費し、再びここに戻って来た時、後悔して「何と無駄なことをしたのか」と言うのを恐れるだけです。（拍手）ですから、自分の知りたいものを見つけ出し、そして足元をしっかり固めることです。本当に私から見つけ出さなければならぬなら、ぜひそうしてください。それより良い方法があるかどうか本当に見つけ出したいなら、どうぞすぐにそうしてください。ためらったままそこに座ってはいけません。お互いに時間の無駄です。みなさんが別のもっと良いものを見つけたなら、私はもう喜んで行ってもらいます。弟子が少なければ私はあまり疲れなくてすみません。そして、私も仲間に加わるかもしれません。共に修行仲間になれます。私は今のみなさんのように、そこに座って弟子の立場を楽しむことができるでしょう。すべてが素晴らしく、面

倒を見てもらい、愛されていて、何の責任もありません。そして、みなさんがしているように、グルをあちこち追いかけて回すこともできません。とてもロマンチックで健康的です。

「ご存じの通り、私はみなさんに信じるように強制したことはありませんし、この「クレージ」な」集団に無理やり入れるために、決して超能力を使ったり、非論理的な話をすることはありません。（笑い）みなさんが選択してやって来たのです。そうですね。あなたが選んだのなら、それが良いものかどうか確かめることです。悪いものを選んでしまったとしても、それも一つの選択です。利益のないものに従うのはエネルギーと時間の浪費にもなります。いったん従ったなら、それが大丈夫か、良いものか、正しいかを確かめなければなりません。そして、それが正しく、かつ利益があると確信したら、そこから最大の利益が得られるようにずつとしてみつていることです。全エネルギーを注ぎなさい。そうでないと、利益は半分しか得られず、時間の無駄です。それならいつそのこと離れた方がいいです。そうですね。（聴衆答える…はい）

それはちょうど結婚のようなものです。いったん相手を選んだら、結婚生活を守るために、お互い努力することです。というのは、この結婚生活が不幸せなら、あなたは外で働くこともできないからです。その活力も興味も起きないのです。二人とも結婚生活のために努力しなければなりません、一生懸命努力したなら、あなたは良いパートナーを選んだと思うのです。

けれども、良い効果が上がらなかったり、二人とも改善したくないなら、努力しないほうがいいですね。お互いの時間とエネルギーを無駄にして苦しめ合ってははいけません。自分にとって良いことであるとか、結婚生活がなければ生きられないと思うなら、努力しなければなりません。何事も維持するためには全力を尽くさなければならぬのです。

私たちの世界は涅槃と同様に美しく変えられます。世界中の人々がそれに向かって努力しないからこんなふうなのです。そうでなければ、どんな浄土にも負けないくらい美しくできます。兵器や戦争、相互の殺戮、争奪、追放のために浪費される世界中のすべてのお金を使って、この地球上の道路を舗装したり、さまざまな美しい木々やエキゾチックな花々やとても栄養価の高い果実や食べ物を植えたり、そればかりか、観賞用のものを植えられます。食べる必要はありません。たくさんあるなら見るだけでいいのです。そしてその果実が落ちて、やがて腐敗し、再びその木の肥料となります。私たちはその良い香りをかぐことができ、この地球を美しい天国に変えられるのです。

私たちの道路は、阿弥陀仏の世界のように瑠璃や金で舗装する必要はありません。セメントやアスファルトで十分満足できます。きれいですし、これで十分です。私たちは泥がない所を歩けますが、泥でさえも美しいです。その辺にごみも落ちてなく、そこら中に放射能を出す電池もころがってなく、至る所にプラスチックやゴムもはびこってなく、自動車の排気ガスが私

たちの鼻を汚染しないならそれでいいのです。私たちはお金や資源やエネルギーを科学に投入できます。今よりも良い車の走行方法や、人類の安全確保、公平な分配方法を発見するために使用できるのです。それは何々制度とか、いわゆる何々主義といった、人々を貧困に陥れるようなものではなく、むしろ貧困から豊かなレベルに引き上げる方法です。こういう方法でなければいけません。他のどんな方法でもだめです。私は政治家ではありません。ただ論理を話しているのです。私は政治が好きではありませんが、時には、政治といわゆる宗教や道徳的な教えは切り離すことはできません。なぜなら、昔は賢者だけが国家を統治できたからです。

ですから、かつて中国に堯舜の時代があり、エジプト黄金時代、ギリシャ黄金時代があったのです。修行者は政治にかかわるべきではないと言う必要はありません。私たちはかかわりませんし、そうしたくもありません。かかわっても私たちには何もできません。けれども、私たちは論理的に話し、なぜ政治が失敗するのかをみなさんに理解させることができます。つまり、それは真の政治ではないからです。真の政治は長続きし、国家と世界に利益をもたらすでしょう。現在、世界には数名の大変素晴らしい指導者がいます。私自身も彼らが好きです。支持しようと思えばできますが、それは、彼らの所へ行って握手して、私はあなたの支持者ですと伝えることではなく、私のやり方でします。そうすれば彼らは権力の座に長くいられるのです。私は目に見えないやり方で彼らを援助するかもしれません。そうすれば、少なくともこの世界

に多少の光があり、神のために働き続ける良い道具が存在することになり、世界は地獄にならずにすみます。(拍手)

他に世界を救う方法がないなら、私たちはメデイーションをすべきです。自己を改善し、道徳的な常識を持つのです。それも大いに役立ちます。世界中、欠点と不公平だらけです。素晴らしい人々からなるグループが世界中にたくさんあれば、例えば、殺生をせず、菜食でも控えめに食べ、すべてに食欲ではなく、印心しているかいないかにかかわらず、できる時にできる範囲で人々を助ける、そんなグループがあれば、それはすでにこの世界に対して大きな貢献をしていることになります。将来、他の人々もゆつくりと私たちを手本として従うようになるでしょう。言葉ではなく、身をもって模範を示して教えるのです。

もちろん、私は言葉でも教えます。なぜ私がこうするのか、みなさんがなぜそうしなければならないのかというのを、みなさんは言葉によって知るからです。それもまた有益ですが、私たちが話をするだけで何もしなければ、それは役に立ちません。害になることさえあります。私たちのエネルギーと、私たちのくだらない話を聞く人々の時間を無駄にするからです。果物が果物に見えても栄養がなければ、それはゴミです。違いますか。そうでしょう。自身の修行力や行動力を伴わない空論なら、それもまたゴミです。エネルギーと時間を無駄にする空っぽの言葉です。

人々はその時間にもっと価値のある話を聞くことができたでしょう。あるいは、もっと良い話が聞ける他の人を探せたでしょう。でなければ、その時間を睡眠などもっと有意義に利用できたでしょう。それとも、おそらく偶然良い本を見つけて、良いことを読んだかもしれません。または、無意味な話を聞くことより、マスターや修行仲間に出会ったり、彼らにとってもっと有益なことを見つけたかもしれないのです。そういうわけで、私たちが話す時は、自分が知っていること、自分が本当に確信していることを話さなければなりません。そうすれば、パワーがあり、エネルギーがあり、人々の利益になるのです。

そういうわけで、ほとんどの人の祈りは実現しないのです。エネルギーがないからです。ただ口先だけで話すか、その弱く微かなエネルギーでほんの一瞬考えるだけなので、人々の思いは実現せず、祈りはかなわないのです。祈りに必要なエネルギーとそれを支える精神力もありません。これは本当の祈りではありません。本当の祈りなら常に実現します。エネルギーがあったら、望む対象を引きつけるからです。引きつけるエネルギーがなければ何も起こりません。二つのものを一緒に置いたとします。一つは磁石で、もう一つは磁石に似せて着色した木片だとすると、この二つが物を引きつける力は同じではありません。本物の磁石だけが鉄や金属を引きつけるのです。決して、もう一方が何かを引きつけることはありません。どんなに長く置いておこうと、どんなに磁石に似ていようと関係ありません。わかりますか。

ですから、みなさん観音法門の修行者が祈ると実現するのです。パワーがあるからです。今では自分の欲しいものを祈るパワーまであります。今まではありませんでした。みなさんは祈りの本当の意味を知りませんでした。「ああ、神様、これを下さい。あれを下さい」と言っているだけです。神がそんなに安っぽいものだと思いますか。(笑い) 一本の針でさえ、木片やただの鉄に引きつけられることがないのに、どうして神がみなさんのつまらない、無意味な言葉に引きつけられるでしょうか。わかりますか。それに、みなさんは自分が言ったことの意味もわからず、自分が祈ったことさえ信じていないのです。ですから、祈りはマスターを知ってから始まるのです。マスターはあなたの中に、祈りのパワー、祈るためのパワー、考えるためのパワー、物事を実現させる自分自身のエネルギーを使うためのパワーを目覚めさせるからです。

(拍手)

そういうわけで、印心後祈ることは、それがみなさんにとって良いことなら、ほとんどは実現します。良くないならマスターは与えません。(笑い。拍手) そうです。ちょうど子どもたちがキャンディーをたくさん欲しがると、親が「だめ」と言うようなものです。そうでしよう。一つや二つ欲しがるのはまだいいのですが、夕食や昼食に比べて多すぎるなら「だめ」です。時々、子どもたちは火遊びをしたがりますが、やはり、親は「だめ! あなたは火を使ったり、火で遊んだり、火が良くないという体験をするほど成長していない」と言うのです。わかるま

で待つても遅すぎることはありません。大きく成長すれば、火を使え、体験できます。わかりますか。今はまだ幼すぎます。火が良くないことはわかっています。その良くないものを取り扱ひ方を知りません。成長したら火が危険であることを知り、どう扱うべきかがわかります。それで火で遊べるのです。火それ自体は同じものですが、みなさんが違うのです。

ですから、ある人にはできても、他の人にはできないことがあります。マスターにはできても、みなさんにはできないことがあるのです。マスターは印心を授け、人々のカルマを取り除くことができますが、みなさんはまねをしてはいけません。(笑い。拍手) マスターは、みなさんにはできないたくさんのことができます。けれども、みなさんでもできるようになるのです。将来そうなります。みなさんが強さ、パワー、そして悟りについて成長すれば、マスターがするのと全く同じことができます。それどころか、それ以上にできるかもしれません。神がみなさんにもつと責任を与えたいと思つたら、みなさんは何でもできるのです。それは、マスターの外面的な行動ではなく、内在の智慧です。マスターにはなぜ自分がそうしたのかを知る方法があるのです。私たちにはわかりません。時にはわかることもあります。わからないこともあります。私たちはただ、「ああ、マスターはただ話をしている、人々を夕食に招いている、お茶を飲んで、あの人たちの額に触っている。私だってこんなこと全部できるし、それ以上でできる」と考えるのです。(笑い。拍手) 「五つの聖名を唱えることもできる。それに、彼女の

本はみんな、私にだって書けるかもしれない」。けれども違います。重要なのは物事の表面的なことではありません。その背後に隠された、目に見えないパワーなのです。

今日にしても、私たちが外でジャーナリストと話していた時に、みなさんは誰かが言ったことを偶然耳にしたでしょう。例をあげると、今コスタリカにとっても修行熱心な弟子がいるのですが、彼は私のことが大好きで、私が行った時も帰る時も、いつも赤ちゃんのように泣くのです。とても良く修行し、大変良い体験があります。最良というわけではありませんが、かなり良く、早く進歩しています。けれども、彼は私を知らずいぶん前に、別のいわゆるマスターから印心を受けています。たぶん同じ方法で同じ法門ですが、彼には恐ろしい反応があり、それでやめてしまいました。わかりますか。そして、その後彼は進歩しました。印心後、私に会ってからとても早く進歩しました。

アメリカにも別の例があります。彼もまた、インドの有名なグルの一人から印心を受けました。そのグルも私同様、音と光の法門を教えています。ただし、彼は十年か十二年もの間進歩しませんでした。そして、やがて彼は別の法門にのめり込み、だまされてしまい、いろいろなことが起きて、そして前より悪い状態に陥ってしまいました。それで、彼はすっかり自信を失い、修行もすべてやめてしまいました。たぶん気の毒な、後悔するようなことさえもしたのでしょう。けれども、私に出会ってから彼は自信を取り戻し、修行を再開すると、とても早く進

歩しました。それで、彼は私に「どうしてですか。実際には同じ教えなのに、どうして効果が違うのですか」と尋ねました。(拍手)

たとえ彼らが同じ、いわゆる音と光の法門を教えていたとしても違うのです。これは私自身もわかっていきます。ある人はお金のためにこの音と光を教えています。一回の授業料はいくらでしょう。授業を受けるためには、まずお金を払わなければなりません。毎月多額のお金を納め、二、三年してから、ようやく光と音の体験の保証もない印心をしてくれます。たぶん、一人や二人は体験があるかもしれませんが、低いレベルの音です。私は誰かを非難しているわけでもなく、その人の名前を言うつもりもありません。けれども、私が言いたいことは、ただ私たちが判断したり、まねしてもよいのは、外面的な行為ではなく、内在のパワーだということです。それは、すべての事を成し遂げるために、特に精神面において成し遂げなければならぬ内在のパワーです。マスターはこう歩いているとか、あんな服を着ているということをまねすることでありません。ここを触って、あそこを触って、ここで手を振って、あそこで手を振って、キャンディーをあげて。(笑い) これがマスターのすべてではありません。もつと多くのことがその背後に存在するのです。愛であり、パワーであり、加護なのです。神からの、愛と慈悲の大海からの、完全な心遣いと配慮があるのです。(拍手) もし修行をしなければ、得るのは難しいのです。レベルが十分に高くないと、こういうことは理解できません。

けれども、みなさんはマスターから何かをもらった時と、他の人から何かを受け取った時とは、何か違う感じがするかもしれません。全く何も感じないかもしれませんが、やがて助けになるでしょう。例えば、私たちの修行者の一人は、奥さんが光を見るまでに、マスターに三回も加持してもらわなければならなかったと言いました。一回目、見えません。二回目も見えませんが、三回目に、「わあ!」。彼女は言いました。「見えた、見えた」。そうです。ある人はゆっくりです。私が知っている修行者は、印心の時は何も聞こえなかったと言いました。彼は他の宗教団体の指導者の一人でした。彼は私たちの所に来て印心を受けました。けれども、それまでのこと、おそらく先入観が原因で、どこかに引掛かって身動きがとれずにいたのかもしれない。初めて音が聞こえるまでに一週間かかりました。けれども、一生懸命努力し、たくさんメデイテーションをして、ついに「上のあそこ」まで這い上がりました。彼の努力は評価に値します。今では彼は一番の支援者で、一番誠実な修行者の一人です。印心後はとても修行に励んだのです。とても努力しました。

けれどもそれは珍しいことです。印心後、彼は一週間何も聞こえませんでした。それで、とても腹を立てました。というのも、彼はいわゆる指導者で、誰でも体験があったのに自分は頂点にいたのにもかかわらず、何の体験もなかったからです。彼は落胆し、自分自身に腹を立てました。けれども、その地位こそ障害となっていたのです。自分は世界中でずば抜けた知性の

持ち主だと思っていました。それに彼は雄弁ですべての經典に精通し、そしてたくさんの物語を知っていてよどみなく話せました。長い間、卵を除けばベジタリアンだったので、たぶん自分は大丈夫だと考えていました。それで、彼は一〇〇%、一〇八%、準備万端整っていると思っていました。そういうわけで、とても失望したのです。

私たちが自分のことをとても素晴らしいか、優秀だとか思っている時は、頭脳にだまされているのかもしれませんが。頭脳は栄光、称賛、幻想が好きで、そして「私は素晴らしい」と考えることが大好きです。その一方で、頭脳は私たちを墮落させることもあります。意気消沈させ、劣等感に陥れ、そして虚栄心を利用して私たちをだまします。これが頭脳が私たちをだます二つの方法です。この世で人をだます最悪の方法は、拝むべきでないものを人々に拝ませることです。木を拝み、石を拝み、あらゆる種類の生命のない物体を拝み、その上、仏陀はこのことを知っていると思うことです。仏陀は知っているかもしれませんが、私たちは知らないかもしれません。というのは、私たちは内面のつながりを探し当てていないからです。ですから、たとえ仏陀が私たちに語りかけたいと思ったとしても、私たちには聞こえません。電話がつながっていないのに、どうやって相手の話を聞けるでしょう。そこにある電話に向かって何度頭を下げて関係ありません。(拍手)

これは、魔の仕掛けたわなですが、誰もそのことを知りません。人々は何かにしがみついて

いることや、自分たちは敬虔である、哲学を理解している、何かを学んでいるなどと、自分自身を称賛することを好みます。ですから、魔、幻想の王は、彼らが自分自身に満足し、永久にそこにとどまらせるために、わなを仕掛けるのです。「私は礼拝している。私は信心深い。私は仏教徒だ。私はああだ、こうだ。私はすべてのものだ。私は忙しい。私は修行している」と。

宗教に関するいろいろな資料は頭脳を満足させるだけのものです。もっと良いことを考えたり見つけたりさせないために、貴重な時間をだまし取るのです。それで、彼らはみなさんに木像を拜むよう言い続け、ある日みなさんはそれが仏陀であると認識してしまうでしょう。ええ、そうかもしれないですが、それは木製です。木の仏陀です。(笑い) 釈迦牟尼仏はいつも「仏陀はあなたの中にいる」と言いました。そして、キリストは「神は汝の内に宿っている。汝が神の殿堂である」と言いました。彼らは何を言いたいのでしょうか。みなさんはこうあって欲しいという形に神を造り、こうあって欲しいという形に仏陀を造っているのです。わかりますか。みなさんの認識、レベル、パワーにより、仏陀はそうなるのです。(拍手)

例えば、私はみなさんに観音法門を教えています。法門などないのですが、法門と呼ばなければなりません。そうでなければ、私の人々に「ここにいらつしやい。でも私は何もあげません。法門もありません」と言ったら、誰も来ないでしょう。けれども、しばらくすると、みなさんは本当に法門などないことを理解します。みなさんを助けているのは、マスターのパワー

だけです。そうですね。さもないと、誰かが法門を一〇〇ドルで売っていたとしても、みなさんは何も得ることはないでしょう。または、他の学校でいわゆるグルが同じ法門を授けたとしても何も得られないでしょう。いいですね。彼らもみなさんに、ここに座り、そこに集中するように指示しますし、彼らもみなさんに触れます。二千年間も触つても、みなさんの頭は依然としてみなさんの頭です。(笑い) 仏陀の頭にはならないでしょう。なぜなら、みなさんのものはみなさんのものだからです。

さて、私が観音法門を伝授した後で、みなさんはメデイテーションをしたとします。みなさんは、自分がどんなパワーを持っているのか、自分が忘れてしまったのはどんな能力なのか、自分には使ったことのないどれほどの智慧があるのか、自分は誰なのか、この宇宙の中で自分がどんな地位にいるのかということを自分の内面で見つけ出そうとします。くりかえし見つけます。そして、やがて第一界を見つけると、自分が今ではとても愛があることに気づくでしょう。前よりストレスが減ったと感じ、こう思うのです。「ああ、これが神だ。神は私を助けてくれている。神はストレスを除き、私の病気を癒して助けることができる」と。第一界ではいくらか病気が治ります。時には、みなさんが誰かに触れるとその人も癒されます。ヒーリングパワーがあるのです。みなさんは、「ああ、神にはヒーリングパワーがある。これが神だ。神には愛がある。神は私に愛を下さる。私は今愛されていると感じる。私も他の人を愛していると感

じる」と言うでしょう。

けれども、その愛は依然弱いレベルのもので、気にすることはありません。みなさんは前より良いと感じます。そして、菜食して体も良くなったと感じます。前より良く考えられるし、今は隣人のことももっと愛せます。それで「私の仏陀は愛である。私の仏陀はヒーリングパワーである。私の神はヒーリングパワーであり、不思議なパワーである」と明言し始めるのです。わかりますか。神は多くの不思議なことができるのです。あなたは神がそこにいることを知ります。神の存在や、神にはどのような本質があるかを知ります。そして、もう少し時間が経つと、修行を積み第二界へ到達します。すると突然誰がいつ質問しても、あなたは雄弁に話せるようになります。今まで聞いたことがないような言い方や、今まではあなた自身も答えられるとは夢にも思わなかった言い方で彼らに答えられるのです。世界中のすべての経典や聖典を理解し、五大宗教すべてが同じことを語っていることを理解します。そうです。ひとりで言うなら、あなたは本当に雄弁であることを認識したので、

時には自分の過去、他の人の過去、未来を見ることが出来ます。自分たちがなぜお互いこのように結びついているのかを知ります。あなたと他の人々との有形、無形のカルマの結びつきを調整できるのです。それで急に人間関係が順調になります。突然、二人の敵が戻って来て愛し合うかもしれません。なぜなら、無形の、あなたの修行のパワーが、マスターのパワーが、

あなたの人生や人間関係から生まれた過去の憎しみを円滑にするからです。それで、あなたは「神には智慧がある。神は仏陀だ。神は悟りだ。神は雄弁だ。これが神だ」と明言するようになるのです。それで、あなたの神は少しばかり背が高く成長したのです。(笑い) これが、あなたがどのように神を造り、仏陀を造るかという方法です。あなたは、「ああ、神は一種の記録装置を持っているので、私たちはその中のすべてを見ることができると言うのです。

やがて、あなたには聞こえてきます。雷の音とか、大水の音が聞こえます。それで聖書には神は雷の音や、大水の音のような声で話すと書かれています。これが、当時の人々が神を表現した方法です。彼らが巨大な炎を見た時、「神は巨大な炎の中から現れる。神とは巨大な炎のようだ」と言いました。ですから、彼らの神は異なるのです。今のあなたの神は今までの神とは異なります。第一界に達しただけの修行仲間や、第三界に達した修行仲間の神とも異なります。その人の神はあなたの神とは異なるのですが、同じ神です。かわいそうに、神は違った目で、違った角度から見られているのです。まるで、釈迦牟尼仏が生存中に語った、象を触つて、象を表現した四人の盲人の話のようです。象の耳に触った人は、「わあ、象はうちわみたいだ。大きなうちわだ」と言いました。足に触ったもう一人は、「ああ、象は大きな柱のようだ」と言いました。鼻に触った一人は「ああ、象はまるでホースのようだ」と言いました。そして、しっぽに触ったあと一人は「わあ、象はほうきみたいだ」と言いました。これが、普通の人々

の神の見方です。これが修行者と違うレベルの人々が神を見て、自分自身の神を造り出すやり方なのです。

ですから、「神はあなたの内にある」「仏陀はあなたの心の中にいる」と言われているのです。これがその真意です。(拍手) さあ、みなさんは仏陀や神が造れることがわかりましたね。私はみなさんが最高の神を造り出すようアドバイスしましょう。私たちの神は無上であり、至高でなくてはいけません。私たちの時間やエネルギーや注意力に値するものでなければなりません。時は金なりです。私たちもまた、最高の神を買う必要があるようです。(笑い) さあ、神はみなさんが拝むために存在するのではなく、私たちが神のパワーを使うことを要求していることがわかりましたね。私たちが自分自身のパワーでこの神を最大限に利用しなければ、祈っても何も起こりませんが、誰も責めることはできません。天上界の一番上から地獄の一番底まで、責めなければならぬのは自分だけです。みなさんは間違った道に進んで、間違った道を歩いてしまったのです。間違った方角のものに、間違った方法で近付いてしまったのです。

観音法門は、みなさんに自分が神であること、そして自分が神を造る方法を理解させるものです。自分のレベルが虫程度なら、神は虫と同じくらい低いレベルにもなれます。自分のレベルを虫より高くしなければ、神は永遠に虫のレベルにとどまります。自分のレベルをより高くすれば、みなさんの神もより高くなり、より高いレベルの神をたたえられます。ということ、

自分自身のメデイテーションと悟りのパワーによって神をたたえるのです。それが最高の祈りです。それが神への最高の賛美であり、最も有意義な祈りであり、神のためにみなさんができる最も有意義な仕事です。(拍手) もし、私たちが神、仏陀、アラ、あるいはみなさんの言うどんな人でも崇拜すると言うなら、私たちは無明のレベルにとどまるのです。本当に神を侮辱し、本当に神や仏陀の榮譽を汚すことになるのです。

ですから、釈迦牟尼仏は「あなたが仏陀を信じていても、仏陀を理解していないなら、それは仏陀の榮譽を汚している」と言いました。これは真実です。どのように仏陀の榮譽を汚すのでしょうか。あなたが無明のレベルにとどまることで、あなたは無明な神であり、もう神のことを信じていないということの人々に見せることになります。なぜなら、あなた自身の無明な考えや見解によって、神を無明な神にしてしまっているからです。あなたは神をこのようなものだと考えるのです。「私は神に祈るけれど、神は聞いてくれない。私はここで神にひざまずいているのに、神は見てくれない」と。神が見ていないのではありません。あなた自身が、神が見ているのを知らずに、神の加護を直接受け取らないでいるのです。あなたが自分の周りにたくさん障害を築いて、あなた自身が神からの福報や加護を拒絶しているのです。世々代々積み重ねられた偏見で、「私は価値がない。私は悪い。私は無明である。私は自分の神性に反するあらゆる過ちを犯している」と考えるからです。

ですから、今でも祈る時に、こういう考えが、自分が神であることや、神からの恩恵を知ることが潜在的に妨げるのです。それであなたは、神はこんなものにすぎないと思うのです。あなたにとって、神は単に祈ったり、不平を言ったり、要求したりする存在にすぎませんが、実はそうではありません。神はそれぞれ違います。あなたがどのように考えるかということと、あなたのレベルによって神は違ってきます。神がそんなにたくさんいるということではなく、私たちの観点が違うので神も違うのです。わかりましたか。本当に神を崇拜していると言うためには、神を理解し、悟らなければなりません。（拍手） ですから、釈迦牟尼仏の言ったことは間違っていないです。もし、理解していないなら、盲目的に信じてはいけません。さもないと、仏陀の榮譽を汚すことになるのです。

いずれにせよ、みなさんは正しい道にいます。みなさんは今までにこのことを理解していると私は思います。そうでなければ、みなさんは私に会いに来ないでしょう。失敗した人でさえも私に会いに来たり、とにかく私に会いたがっています。彼らには来る面目がないのかもしれないませんが、気にすることはありません。もし、彼らが管理されず、誰かに始終注意されたり、小言を言われたりせずに他でゆっくり修行したいなら、家でゆっくりやっついていてもいいです。私に早く付いて来たい人は、一生懸命修行し、何事も早くなければなりません。私は早い人が好きです。みなさんは私にとって決して早すぎることはありません。（拍手） なぜなら、世界

はそのように早く働ける人々を必要としているからです。世界にはそのように早く考える、智慧のある、良心的で、道徳的で正直な人々が絶望的に不足しています。ですから、多ければ多いほど良いのです。

あなたの神がどれほど偉大か、より早く知ることには良いことです。あなたは愛を伝播することができませんし、他の人にあなたの神を見せることもできません。人々はあなたを見る時、神を見るかのように、畏れで震えるかもしれませんが。愛で高貴になったと感じるかもしれませんが、ただちよつと違う感じを受けるだけかもしれません。これが、あなたを通して神が人々を祝福する方法です。あなたははゆつくりと神のレベルに上がって行くからです。わかりますか。これが、私たちが世界を祝福する方法です。これが、私たちが神を崇拜する方法です。これこそ、私たちが真に祈る方法なのです。

たとえ私たちが祈っていない時でも、それでも神はあなたやすべてのもの、そしてあなたを見る人々を祝福しています。わかりますか。その時あなたはすでにマスターなのです。あるいは、まだマスターのレベルに達していません。すでに多少の、あるレベルの、こういった種類のパワー、愛、祝福があります。ですから、これが、私たちが世界に貢献する方法です。そういうわけで、神は真の愛であると言えるのです。(拍手) そして人々はあなたを称賛するでしょう。いいですね。理論は十分です。(笑い) けれども、私の理論は単なる理論ではありません

せん。みなさんはパワーを感じます。力を感じます。なぜでしょう。それは、私が言っていることを私自身が悟っているからです。本で読んだではありません。わかりますか。私は自分自身の内面で悟ったのです。ですから、私が話すことはすべてみなさんの利益になります。説得するパワーがあるので、みなさんは信じるのです。他の人が私の言葉を繰り返し返しても、それは空っぽの言葉にすぎません。そうです。ですから、私たちは自分で修行し、理解しなければなりません、そうすれば、私たちがマスターの言葉を繰り返し返したとしても、そこにはいくらかのパワーがあります。それは私たち自身のものになるからです。(拍手)

私をここに招いてくださったことに感謝します。また、空港でのみなさんの熱烈な愛と、そして、今日と、ここにいるあと三、四日間の愛に感謝します。私の旅のゴールに到達するため、一生懸命働いてくださることに感謝します。私の旅はみなさんの旅でもあり、私の仕事はみなさんの仕事でもあるからです。恩恵や利益を得た人はみな、私やみなさん、そして、この仕事に協力し、助け、精神的、肉体的に援助してくれたすべての人から恩恵を受けたのです。ですから、すべての人が人類に恩恵を与えているのです。これが菩薩の道です。これが聖人の道です。他に道はありません。剃髪する必要はありませんし、ヒマラヤにも執着しません。何も必要ありません。釘のベッドに寝ることもありません。そうです。普通でいながら、智慧を持つのです。

みなさんは美しいです。私はみなさんが進歩したことや、信心がしっかりしていることをうれしく思います。いくつかのテストを通過して来たことも知っています。けれども、それは自分のレベルを知る方法です。自分の判断力が鋭いかどうか、本物と偽物のマスターの違いがわかるかどうか、マスターの内在の徳を認識する方法を知っているかどうかを知る方法です。うわさやゴシップを聞いただけで、私たちの心は汚染されてしまうのです。私たちがそれを繰り返して他の人に言ったら、その人の心も汚染されてしまい、伝染病のように広がってしまうでしょう。ですから、話す時は良いことを話すべきです。どうしても何か話さなければいけない時は、人々に教えたり、彼らが進歩するためでなければなりません。そうでないなら、その内容が真実かどうかにかかわらず、否定的なことを話すのはよくありません。そういうことをまき散らす人は、真つ先に最も影響を受けます。そして、聞く人も、それを聞き入れたり、信じたりすれば影響されるのです。いいですね。おやすみなさい。